

DJポリスに総監賞 私がお手伝いした 刑事さんも表彰もの

6月4日にサッカー日本代表が5大会連続となるW杯本大会進出を決めました。30年以上も昔の話になりますが、私が中学生の時代にはW杯に日本代表が出るなんてことは夢のまた夢で、眠い目をこすりながら深夜放送のW杯中継で世界のスーパーサッカーを興奮して観ていたものです。

20年前の1993年の米ワール

ドカップ予選では、試合終了間際のロスタイム、イラク代表に同点ゴールを決められて本大会進出を逃しドーハの悲劇と呼ばれました。この時は初のW杯本大会進出の切符を掴んだと思いきや、まさかの予選敗退で失意のどん底に落とされ、悔し涙を流したことは忘れられない出来事ではない思い出です。

サッカージャーナル日本代表はその悔し涙を糧に、1998年仏W杯以降のすべての本大会に進出し、来年のブラジルW杯本大会にも進出を決めたということは、とても素晴らしいニュースだと感動しました。

そして、その素晴らしいニュースと共に話題になったのが「DJポリス」です。ご存知の方も多いことでしょうが、サッカー日本代表がW杯本大会進出を決めた直後、渋谷駅前で雑踏警備にあたっていた機動隊の方が、拡声機を使って軽妙な語り口で若者らを誘導して「DJポリス」として評判になりました。渋谷のスクランブル交差点で、車に寄りかかる若者には「イエローカードです」と諭し、歓喜に沸くサポーターたちに対して「怖い顔をしたお巡りさんも心の中ではW杯出場を喜んでいま

情熱的な警察官でした。

この連載を読んでいた 盗犯係が電話くれた 「窃盗で立件したい」

ある日、外出先で私の携帯に見たことのない市外局番から電話がかかってきました。末尾は110になっていたので、どこかの警察署からの電話だとすぐに察知しました。電話の相手は関東近郊の警察署の盗犯係の刑事さんでした。その刑事さんは、なんと!?この連載「ゴトに勝つ」を読んで、私に電話をかけてきたそうなのです。

パチンコ店で悪さをしたゴト師2人を捕まえたが、ゴトの手口を

ゴトに勝つ

高石隆一

23

「電磁波」が爆発的に増える センサー増え顕在化したか

解明しなければ建造物侵入罪のみで微罪処分になる可能性が高いので、なんとか窃盗罪若しくは窃盗未遂を立件するために手口の解明を手伝って欲しいとのことでした。

被害台は「パチスロ北斗の拳・世紀末救世主伝説」で、6月から新台が出ているのでいわゆる旧北斗の拳になりますが、その犯行の手口はこれまでこの「ゴトに勝つ」でお伝えしてきたゴト手口をそのまま実行していたそうです。

まさに定番の手口 しかし立件するには 手口の再現が必要

その刑事さんが取り調べの中で「何かの雑誌を読んで犯行を学んだのか？」と確認した程、過去に「ゴトに勝つ」で説明してきた通りの手口だったそうで、防犯カメラの録画映像で犯行時の状況を見ると、実行犯の犯行を隠す壁役兼見張り役は実行犯がセルを挿入する際に立ち上がって呼出しランプのデータを見るふりをしており、実行犯はスタートレバー付近の正面パネルの左側にセルを差していたとのことでした。また、そのゴ

北斗の拳F

トグループは、犯行の来店時には車両を店舗駐車場には止めずに近隣の商業施設に駐車しており、その車両からはインカムを傍受するレシーバーとシートの下に隠された多数のゴト道具（セル）が押収されたそうです。

まさに定番の手口そのままの状況でその刑事さんは笑って話していましたが、これは捕まえることが出来たから笑い話になるのであって、定番の手口でも被害が出ている現状もあるのでリアクションが難しかったです…。

この事件を窃盗罪で立件するためにはゴト被害を実証しなければならぬのですが、そのためには



清算ボタン付近からセルを挿入している様子

逮捕時に所持していたゴト道具のセルを使って、そのゴト手口を再現することが1番の方法になります。逮捕しているゴト師がそれを再現してくれば良いのですが、みすみす自分の罪を重くするような奴はいないので、刑事さんがなんとかして解明してそれを犯人に突きつけるということをしなればならないのです。

刑事さんはしろうと 説明に苦闘したが 見事に事件にした

今回は遠距離であるので、私や弊社のスタッフが検証をお手伝いに行くことも出来なかったたので、電話で何度もセルの使い方やタイミングを説明したのですが、パチスロを打たない人にARTのゲーム性や手口を説明して理解してもらうことの難しさを再認識しました。最終的には被害に遭った店舗の責任者の方に説明して、その方が検証をサポートした

ことよって、ある程度の検証結果を出すことが出来たのでなんとかお役に立つことが出来ました。

数日後、その刑事さんから建造物侵入と窃盗未遂で立件することが出来たと連絡を頂きましたが、実はこの事例以前に何件も捜査協力の結果立件出来なかったことがあったのです。立件出来なかった理由はいろいろですが、そのほとんどはここで書く事も出来ないしよーもない理由なのですが…。そんなことが続いていた私にとってこのゴト事例が立件されたという事実は、今後のART機のセルゴト事件の参考事例になる大いなる一歩だと思えます。パチンコ店で発生したゴト事件を立件するため、努力してくれた刑事さんはいっぱいいますが、結果を出して立件するまでに至ったこの刑事さんに賞賛があってもよいのではないのでしょうか。

「忍法帖Ⅱ」で 異常な連チャン 録画見て警察に通報

前号でお伝えしたメーシー「パジリスター甲賀忍法帖Ⅱ」と

「ミリオンゴッド」神々の系譜「ZEUS Ver.」のセルゴトですが、すでに5月末にメーカーからの注意喚起文が出されたので、警戒済みのこととは思いますが、全国各地で被害が多発している状況なので改めて嚴重注意して頂きたいと思えます。

メーシー「バジリスク」甲賀忍法帖「II」のゴト被害に遭った店舗の方からの情報により、セル挿入箇所などが判明しましたが、手口はこの手口だけとは限らないのでご注意ください。

ゴト被害の発見経緯は「バジリスク」甲賀忍法帖「II」で異常な連チャンをしているとの報告をホールスタッフから役職者が受けて、録画映像を確認したところ、壁役が立ち上がり死角を作るなどしており、その際に実行役が筐体左上側面付近にセルを挿入している仕事も見受けられたとのこと。その後、打ち子と遊技を交代している状況も確認された。ゴトグループはその後、さらに別の台でも同様にゴト行為に及んでいた。

これらの状況を現認して店舗側はすぐに警察に通報すると共に、ホールスタッフにはインカムを使

用せずに口頭でゴトがおこなわれていることを伝達し、お客様から呼出しランプの点灯が無い限り犯行現場に近づかないように指示が出されました。

ゲタでこじ開け 筐体の左上と左下 2本のセルを駆使

ゴト師が出玉の交換を依頼してきたのをジェットの故障を理由に交換を待たせ、到着した警察官立ち会いのもと、今後の店舗の出入り禁止と出玉交換の断りを告げて打ち子の2名は警察に連行されて別々に事情聴取を受けたそうです。



防犯カメラの録画映像から、実行犯は最初に筐体左側面にセルを挿入しやすくするために隙間を拡げる目的でゲタ（導入板）を挿入して、その後ゲタを筐体左側面の中央部分の蝶番から遠い部分から上側部分へと移動して隙間を徐々に拡げると、次にその隙間からサブ中継端子板部分を狙って1本目のセルを挿入していたことが判明しております。またその後には筐体左下部分にも2本目のセルを挿入していました。これは筐体左下パネルサイドにあるカバーの隙間からLED部分を狙っていたものと推測されます。これらのことから、このゴト手口ではゲタ（導入板）と2種類のセルの少なくとも3つの道具を使って犯行が行われているものと思われます。犯行時には被害台の電源が2〜3秒程度落ちていること、被害台の筐体左上側面と筐体下パネル横の紫色のカバー内に傷が残っていたことも判明しております。

5分犯行で60連荘
強烈な破壊力だから
「鬼の城」も注意を

この事例以外にも様々な店舗から被害状況が入ってきておりますが、犯行時間の短さとARTの連チャン状況からの想像になります。セルによってレア小役などの情報を強制的に送り込むことによりARTの抽選や上乗せを大量に行っているものと思われまます。実行犯による犯行時間が5分くらいで、ARTが60連荘以上発生した事例もあるほど強烈な破壊力がある手口ですので、見慣れない怪しいお客様や強烈な出方をしている遊技台を見かけた際には防犯カメラの録画映像のチェックを忘れず実施してください。

メーカーからはエレコ「ミリオンゴッド」神々の系譜「ZEUS Ver.」とメーシー「バジリスク」甲賀忍法帖「II」だけでなく、メーシー「鬼の城」も注意喚起の対象に指定されております。これは、現在のところ被害事例は確認されていないにもかかわらず、同一筐体でART機であることから同様の被害が発生する可能性が高いからということですので、設置店舗におかれましてはバジリスクIIとミリオンゴッドと同様に警戒及び対策を実施して頂くようお願いいたします。

5月末から6月に 被害報告が多い 「ハンターZS」「鉄拳」

この連載で過去に何度もお伝えしてきているART機を狙った電磁波ゴトですが、ここに来て被害が爆発的に増えてきているように感じますが、それは電磁波センサーの設置店舗が増えたことにより、今まで目に見えなかったものがセンサーにより見えるようになっただけなのかもしれません。

5月末から6月にかけて被害報告が多数あったのが、ロデオ「モンスターハンターZS」と山佐「パチスロ鉄拳デビルVer.」の2機種です。

電磁波センサーの発報、不審なホッパーエラーやセレクトエラーの発生により、遊技途中の台のメダルをそのまま放置して逃走したことにより電磁波ゴトの被害に気がついたという事例も相変わらぬ多いのですが、ここ最近多いパターンは、ホールスタッフがARTの残りゲーム数（上乘せ）が三桁以上にもなっている台や激しく出続ける台を不審に思い役職者に

バジリスクII



ゴトの痕跡が残っていた箇所

連絡をして、連絡を受けた役職者が録画映像をチェックしたところ、現在打っている人物（打ち子）の直前に打っていた人物（電磁波ゴト実行犯）が下皿付近に手を当てるとか、レバー付近に左手をかざすような仕草をした後に、打ち子にチェンジしているといった鉄板のゴト挙動パターンから被害に気がつくというケースです。

ある店舗でのケースです。見慣れないお客様（打ち子）が遊技しているロデオ「モンスターハンターZS」で、ART残りゲーム数が700ゲーム以上もあることを不審に思ったホールスタッフの報告を受けて、役職者が防犯カメラ



ゴト器具の挿入により枠が歪んでいる

の録画映像をチェックしました。すると、アイルーボーナス（レギュラーボーナス）成立後に筐体左下部分に手を置きながらボーナスを消化している不審者がいました。レギュラーボーナス終了後にその不審者は台を離れて、数分後に打ち子と思われる人物が着席し、不正で貯めたARTを消化しているところをホールスタッフに見えられたのです。

このように「モンスターハンターZS」や「パチスロ鉄拳デビルVer.」における電磁波ゴトが頻発しています。設置台数も減少していますが、バラエティコーナーにある1台でも犯行に及んでいるた



ランプカバーのツマ部分に傷が残っていた

め、当該機種を1台でも設置されている店舗におかれましては、本情報を全ホールスタッフに伝達し、見慣れないお客様の「ARTのゲーム数のチェック」や「差枚発生時の録画映像の確認」等の対応を徹底して頂くことをお願いいたします。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち

警備会社の指導員、セキュリティ会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキュリティサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務める。かわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「二期会」が座右の銘。